

CSR（企業の社会的責任）セミナー 『カラーユニバーサルデザインの必要性』 ～視覚情報のバリアフリー化推進～

ここ数年、「社会の信頼に応え、持続的な発展をしていく」ために必要とされるCSR（企業の社会的責任）の重要性が高まってきている中、「使いやすさ」や「見やすさ」などに配慮する「ユニバーサルデザイン」が注目を集めております。

そうした中、現代社会において「色」は、とても重要な情報伝達手段となっておりますが、ほとんどが一般の色覚の人の見え方だけを考慮して作成される場合が多いため、国内に300万人以上いるとされる色弱者や視覚機能が衰えてきた高齢者にとっては、「見えにくい」「情報が伝わらない」といったケースが増えてきており、観光やまちづくり、安心・安全といった観点からも積極的な対応が必要とされております。

こうした状況に対応すべく、静岡県や神奈川県をはじめとした多くの自治体で、色を上手く使いながら、きちんとした情報を伝える『カラーユニバーサルデザイン』に関するガイドラインが作成されております。

本セミナーでは、利用者側の実際の見え方や見分けやすい色、行政・自治体の取組み事例などについてご紹介致しますので、是非ご参加下さい。

カラーユニバーサルデザインとは？

多様な色覚を持つさまざまな人に配慮して、なるべく全ての人に情報がきちんと伝わるように利用者側の視点に立つてつくられたデザインのこと。

識別困難な事例

- ・駅などの案内板で色分けしてあっても、文字を読まないとわかりづらい。
- ・カラフルなグラフや図の区別や、凡例との対応がしにくい。
- ・画面や操作パネルのボタンが判別しにくい。
- ・電光掲示板の強調されている文字が読みづらい。
- ・充電等のパイロットランプの色の変化がわかりづらい。等

【セミナー概要】

- ◇日 時：平成21年6月11日（木）14：00～15：30
- ◇会 場：札幌商工会議所 8階 第3会議室（札幌市中央区北1条西2丁目）
- ◇定 員：60名（定員になり次第締め切ります。）
- ◇参加費：無料
- ◇内 容：①「色弱者の本音」
NPO 法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長 栗田 正樹 氏
- ②「カラーユニバーサルデザイン」の必要性
NPO 法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構 理事長 谷越 律夫 氏
- ◇申込み：下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご返信願います。
- ◇お問合せ先：札幌商工会議所 会員組織部 会員組織課（担当：菅原、池野、手塚）
TEL. 011-231-1317 FAX. 011-231-2168

「カラーユニバーサルデザインセミナー」参加申込用紙
【FAX. 011-231-2168】

会社名			
TEL		FAX	
役職名		氏名	

※ご記載いただいた個人情報は当セミナーの運営・連絡・情報提供等に使用いたします。